

◆導入効果シミュレーション資料

前提条件
1営業所：50人
車両台数：100台
人件費単価：3000円

【1.管理職工数と費用】

No.	項目	従来対応	システム対応	御社の費用対効果				
				費用対効果		コスト		費用対効果
				従来	新	従来	新	
1	年間計画書作成	・Excelで教育指導の年間計画書を作成する	・計画書欄を1クリック	6h	0h	¥18,000	¥0	¥18,000
2	国交省配布資料印刷	・国交省が配布する『一般的な指導及び監督の実施マニュアル』を印刷する。 ・全ドライバーに配布する ・全146ページ	・マニュアル欄を1クリック ・VR内に監査項目毎の教育動画有り(印刷2ページ×12項目)	4h	1h	¥12,120	¥1,818	¥10,302
3	紙削減	146枚×(ドライバー数+1)×1円	紙不要	14746枚	0枚	¥14,746	¥0	¥14,746
4	教育実施	・ドライバーが全員揃うまで待機(30分/月) ・読み聞かせによる教育実施(30分/月)	・運行管理者による概要説明(3分/月) ・待機時間中にVR動画を視聴	24h	1h	¥72,000	¥1,800	¥70,200
5	教育記録の管理と確認	・書類をファイルで管理する(5分/月) ・過去のファイルは書庫から取り出す(15分/月)	・月別のドライバー別進捗状況を1クリックする	8h	0h	¥24,000	¥0	¥24,000
6	ドライバー未実施者の再教育	・ファイルから未実施者が誰かを特定する(10分/月) ・対象ドライバーが全員揃うまで待機(30分/月) ・対象ドライバーに読み聞かせの教育を行う(30分/月)	・月別のドライバー別進捗状況を1クリックする ・対象ドライバーに概要を説明する(3分/月) ・対象ドライバーが空き時間にVRを視聴する	28h	0.6h	¥84,000	¥1,800	¥82,200
7	監査対応準備	・書類の不備チェック ・書類が格納されたDBの位置を確認 ・書庫から必要な書類の取り出し	・システムからcsvを出力する	6h	0.03h	¥18,000	¥90	¥17,910
8	監査対応	監査当日に書類にて質疑応答を実施	監査当日、画面にて質疑応答を実施	4h	1h	¥12,000	¥3,000	¥9,000
9	監査後のフィードバック管理	監査後のフィードバック書類をファイルで管理する	システムで管理する	0.3h	0h	¥960	¥60	¥900
小計				80h	2.9h	¥255,826	¥8,568	¥247,258

【2.ドライバー工数と費用】

No.	項目	従来対応	システム対応	御社の費用対効果				
				費用対効果		コスト		費用対効果
				従来	新	従来	新	
1	教育実施	・ドライバーが全員揃うまで待機(30分/月)×10名×12カ月 ・読み聞かせによる教育実施(30分/月)×20名×12カ月	・運行管理者による概要説明(5分/月)×20名×12カ月 ・待機時間中にVR動画を視聴(5分/月)×20名×12カ月	873h	93h	¥2,619,000	¥279,360	¥2,339,640
2	ドライバー未実施者の再教育	・対象ドライバーが全員揃うまで待機(30分/月)×2名×営業所数 ・対象ドライバーに読み聞かせの教育を行う(30分/月)×3名×営業所数	・対象ドライバーに概要を説明する(5分/月)×3名 ・対象ドライバーが空き時間にVRを視聴する(5分/月)×3名	48h	6h	¥144,000	¥17,280	¥126,720
小計				897h	96h	¥2,763,000	¥296,640	¥2,466,360

【3.事故時の対応工数と費用】

No.	項目	事故件数とトラック数	VR学習効果	御社の費用対効果				
				費用対効果		コスト		費用対効果
				従来	新	従来	新	
1	【直接損害】 ・財物、人身、賠償損害 【間接損害】 ・事故処理経費、賃金ロス、収益低下、数値化不能障害	・ドライバー従事者830,000人(2020年) ・死傷事故件数18,254件/年(2016年) 出典：トラック協会 ⇒1人当たり年間2.2%の確率で事故が発生 ・1台当たり事故費(内訳は左記)は、822,000円/件 出典：Logibiz	・講義後の自分への行動への自信は275% ・コンテンツへの心理的な結びつきは講義形式の3.75倍 ・学習への集中はE-ランニングの4倍 ⇒学習効果によって事故が4分の1に減少すると試算 *出典：PwCコンサルティング	2.2件	0.55件	¥1,808,400	¥452,100	¥1,356,300
小計				2.2件	0.55件	¥1,808,400	¥452,100	¥1,356,300

【4.離職率の防止による費用効果】

No.	項目	新規採用者の離職率と利益率等	VR学習による離職率の防止と機会損失	御社の費用対効果				
				費用対効果		コスト		費用対効果
				従来	新	従来	新	
1	離職防止による採用費ロス削減	【新規採用者数】既存ドライバー数×10%と仮定 【採用単価】新卒1人当たり53.4万円(出典：マイナビ) 【運輸業界の3年以内離職率】離職率40%(厚生労働省)⇒新規採用数×40%	研修体制が整っていないことが原因(13%) 出典：株式会社ZUZU調べ	4人	3人	¥2,136,000	¥1,858,320	¥277,680
2	機会損失	【トラック1台当たりの利益率】5%(出典：物流Weekly) 【トラック1台の売り上げ】3万円と仮定(運送会計.com) 【稼働日】312日(日曜日のみ休日)	機会損失額 =3万円×312日×5%×離職人数			¥1,872,000	¥1,628,640	¥243,360
小計						¥4,008,000	¥3,486,960	¥521,040

効果総計 ¥4,590,958